

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	ITスキルWord I		授業形態	演習		
担当教員	西吉 まゆみ		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	富士通パソコン教室PCインストラクター (富士通ラーニングメディア認定講師)					
テキスト	MOS Word 365&2019対策テキスト&問題集 オリジナル資料					
講義の概要	Wordの基本操作である文字入力や編集、表や図形、画像を使った応用的な機能についても学習し、見栄えの良い文書の作成と実践的な使い方をマスターする。 また総合的なWordのスキルの養成を図り、Microsoft MOSアソシエイトの資格取得を目指す。					
講義の展開計画						
	前期			後期		
第1回	オリエンテーション、スキルチェック		第1回	後期オリエンテーション 出題範囲4：参考資料の作成と管理		
第2回	Wordの概要・基本操作 タイピング		第2回	出題範囲4：参考資料の作成と管理		
第3回	MOS Word365&2019の事前学習		第3回	出題範囲4：参考資料の作成と管理		
第4回	MOS Word365&2019の事前学習		第4回	出題範囲5：グラフィック要素の挿入と書式設定		
第5回	出題範囲1：文書の管理		第5回	出題範囲5：グラフィック要素の挿入と書式設定		
第6回	出題範囲1：文書の管理		第6回	出題範囲5：グラフィック要素の挿入と書式設定		
第7回	出題範囲1：文書の管理		第7回	出題範囲6：文書の共同作業の管理		
第8回	出題範囲2：文字、段落、セクションの書式設定		第8回	出題範囲6：文書の共同作業の管理		
第9回	出題範囲2：文字、段落、セクションの書式設定		第9回	模擬プログラムの使い方 模擬プログラム1		
第10回	出題範囲2：文字、段落、セクションの書式設定		第10回	模擬プログラム1解説		
第11回	出題範囲3：表やリストの管理		第11回	模擬プログラム		
第12回	出題範囲3：表やリストの管理		第12回	模擬プログラム		
第13回	出題範囲3：表やリストの管理		第13回	模擬プログラム		
第14回	前期まとめ・期末試験対策		第14回	後期まとめ・期末試験対策		
第15回	前期期末試験		第15回	後期期末試験		
履修上の注意	PC・テキストは必ず持参すること。 時間になったらすぐにPCが使用できるよう事前に充電はしておくこと。					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、実技試験と平常点の合計を評価基準とする。 (評価：定期試験80%、平常点20%)					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	ITスキルExcel I		授業形態	演習		
担当教員	松原 勝江		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	あり					
テキスト	①MOS Excel365&2019 対策テキスト&問題集 ②オリジナルプリント					
講義の概要	基本的なワークシートの作成、グラフ、データベースの機能を中心に学習することで、Excelの基本操作を習得する。また、実用例の学習を通して実用的なスキルを身に付けたいうで、MOSのspecialist、アソシエイトの資格取得を到達目標とする。					
講義の展開計画						
前期			後期			
第1回	オリエンテーション 模擬プログラムインストール		第1回	教材演習13 (グラフの管理)		
第2回	Excelの概要 スキルチェック		第2回	教材演習14 (グラフの管理)		
第3回	教材演習1 (基本的操作)		第3回	教材演習15 (グラフの管理)		
第4回	教材演習2 (基本的操作)		第4回	教材演習16 (教科書総復習)		
第5回	教材演習3 (基本的操作)		第5回	教材演習17 (教科書総復習)		
第6回	教材演習4 (基本的操作)		第6回	教材演習18 (教科書総復習)		
第7回	教材演習5 (テーブルやデータの管理)		第7回	模擬試験プログラム①		
第8回	教材演習6 (テーブルやデータの管理)		第8回	模擬試験プログラム②		
第9回	教材演習7 (テーブルやデータの管理)		第9回	模擬試験プログラム③		
第10回	教材演習8 (テーブルやデータの管理)		第10回	模擬試験プログラム④		
第11回	教材演習9 (数式・関数)		第11回	模擬試験プログラム⑤		
第12回	教材演習10 (数式・関数)		第12回	模擬試験プログラム ランダム①		
第13回	教材演習11 (数式・関数)		第13回	模擬試験プログラム ランダム②		
第14回	教材演習12 (数式・関数)		第14回	総復習		
第15回	前期末試験		第15回	後期末試験		
履修上の注意	PC・テキストは必ず持参すること。忘れた場合は減点対象とする。					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、実技試験と平常点の合計を評価基準とする。 (評価：定期試験80%、平常点20%)					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	TOEIC		授業形態	演習		
担当教員	大久保 泉		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-intermediate, TOEIC出る単特急金のフレーズ					
講義の概要	TOEIC問題様式に慣れ親しみ、英語のリズム、発音や音の変化に慣れ、英語を語順のまま理解するスキルを身に付けます。 TOEIC類出英文法、長文のスキャンニングに慣れ親しみます。毎回単語テストを行います。					
講義の展開計画						
第1回	自己紹介、アイスブレイク、学習方法、単語の覚え方		第1回	単語テスト スキャンニング Part4①		
第2回	単語テスト ミニTOEIC模試		第2回	単語テスト スキミング Part4②		
第3回	単語テスト TOEIC形式①		第3回	単語テスト スラッシュリーディング Part4③		
第4回	単語テスト TOEIC形式②		第4回	単語テスト 速読① リスニング演習①		
第5回	単語テスト 基本文法① Part1①		第5回	単語テスト 速読② リスニング演習②		
第6回	単語テスト 基本文法② Part1②		第6回	単語テスト 速読③ リスニング演習③		
第7回	単語テスト 基本文法③ Part1③		第7回	単語テスト TOEIC長文問題 リスニング演習④		
第8回	単語テスト 文法小テスト Part2①		第8回	小テスト		
第9回	単語テスト 基本文法④ Part2②		第9回	単語テスト TOEIC長文実践① リスニング演習⑤		
第10回	単語テスト 基本文法⑤ Part2③		第10回	単語テスト TOEIC長文実践② リスニング演習⑥		
第11回	単語テスト 基本文法⑥ Part3①		第11回	単語テスト TOEIC長文実践③ リスニング演習⑦		
第12回	単語テスト 基本文法⑦ Part3②		第12回	単語テスト TOEIC長文実践④ リスニング演習⑧		
第13回	単語テスト 基本文法⑧ Part3③		第13回	単語テスト TOEIC長文実践⑤ リスニング演習⑨		
第14回	単語テスト オーラルテスト		第14回	単語テスト オーラルテスト		
第15回	期末試験		第15回	期末試験		
履修上の注意	毎回単語テストの準備をして授業に参加してください。					
試験成績の評価基準	筆記試験 (60%)、口頭試験 (20%)、平常点 (20%) 課題レポート、単語テスト、小テストスコア					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	TOEIC		授業形態	演習		
担当教員	近江 貞子		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	TOEIC Bridge から学ぶ実用英語の基礎・出る単特急金のフレーズ・オリジナルプリント					
講義の概要	音読をメインに様々なトレーニング方法でリスニング力をつけていくと同時に、既習表現の繰り返しで発信する能力もつけていきたい。また、文法項目を基本から確認しつつTOEIC Reading Partの解法を学び、スコアを伸ばすことが目標である。Testing pointを意識しながら問題を解き、曖昧な部分を無くして英語全体の理解を深めていただきたい。前回の復習をしながらListening, Readingを隔週で進めていく。毎時間単語check testを実施する。					
講義の展開計画						
前期			後期			
第1回	Introduction Unit 15 Half Test		第1回	Word test 13 Unit 15 Half Test Review of the first term(esp. Unit 9)		
第2回	Word test 1 Unit 15 解説		第2回	Word test 14 Unit 10 オリジナルプリント		
第3回	Word test 2 Unit 1 オリジナルプリント		第3回	Word test 15 Unit 10 review → Unit 11 オリジナルプリント		
第4回	Word test 3 Unit 1 review → Unit 2 オリジナルプリント		第4回	Word test 16 Unit 11 review → Unit 12 オリジナルプリント		
第5回	Word test 4 Unit 2 review → Unit 3 オリジナルプリント		第5回	Word test 17 Unit 10 - 12 review		
第6回	Word test 5 Unit 1-3 review		第6回	Word test 18 Unit 13 オリジナルプリント		
第7回	Word test 6 Unit 4 オリジナルプリント		第7回	Word test 19 Unit 13 review → Unit 14 オリジナルプリント		
第8回	Word test 7 Unit 4 review → Unit 5 オリジナルプリント		第8回	TOEIC 模試 (Listening Part) ・解説		
第9回	Word test 8 Unit 5 review → Unit 6 オリジナルプリント		第9回	TOEIC 模試 (Reading Part) ・解説		
第10回	TOEIC Bridge模試		第10回	Word test 20 TOEIC 模試解説		
第11回	Word test 9 模試解説・Unit 4-6 review		第11回	Word test 21 TOEIC Test 過去問, 解説		
第12回	Word test 10 Unit 7 オリジナルプリント		第12回	Word test 22 TOEIC Test 過去問, 解説		
第13回	Word test 11 Unit 7 review → Unit 8 オリジナルプリント		第13回	Word test 23 TOEIC Test 過去問, 解説		
第14回	Word test 12 Unit 8 review → Unit 9 オリジナルプリント		第14回	Textbook all review Preparation for the term-end test		
第15回	Term-end examination, 解説		第15回	Term-end examination, 解説		
履修上の注意	上記は進捗状況に合わせて変更もあり得る。既習事項は何度も復習してもらいたい。受け身の学習姿勢では向上しないので疑問点があれば積極的に質問すること。授業を通して自学自習の方法も確立して欲しい。辞書・テキストは必ず持参すること。					
試験成績の評価基準	筆記試験80%、平常点(宿題・授業への貢献・課題提出等)20%					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	使える英会話	授業形態	演習		
担当教員	Andrew Moss	履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科	G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期
コマ数/週	前期	1	後期	1	
実務経験					
テキスト	Talk a Lot: Book 2				
講義の概要	In this lesson, students will practice general English using a variety of techniques including role playing, group discussion, games, and video clips.				
講義の展開計画					
第1回	Unit 1	第1回	Unit 9		
第2回	Unit 1	第2回	Unit 9		
第3回	Unit 2	第3回	Unit 10		
第4回	Unit 2	第4回	Unit 11		
第5回	Unit 3	第5回	Unit 11		
第6回	Unit 3	第6回	Unit 12		
第7回	Unit 4	第7回	Unit 12		
第8回	Unit 4	第8回	Unit 13		
第9回	Unit 5	第9回	Unit 14		
第10回	Unit 6	第10回	Unit 14		
第11回	Unit 6	第11回	Unit 15		
第12回	Unit 7	第12回	Unit 15		
第13回	Unit 8	第13回	Unit 16		
第14回	oral exam	第14回	oral exam		
第15回	written exam	第15回	written exam		
履修上の注意					
試験成績の評価基準	Written and oral exam				

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	使える英会話		授業形態	演習		
担当教員	George M.		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	Talk a Lot One (EFL press)					
講義の概要	In this lesson, students will practice general English using a variety of techniques including role playing, group discussion, games, and video clips.					
講義の展開計画						
前期			後期			
第1回	Introduction: Textbook, class rules, self introduction activity		第1回	Unit Seven: Food and food preferences		
第2回	Unit One: Meeting new people, practical questions		第2回	Unit Seven cont.: Ordering food in a restaurant		
第3回	Unit One cont. : Class schedules, listening		第3回	Unit Eight: Jobs and job hunting		
第4回	Unit Two: Talking about interests		第4回	Unit Eight cont.: Answering job interview questions		
第5回	Unit Two cont.: Family characteristics		第5回	Unit Nine: Study abroad and homestay options		
第6回	Unit Three: Speaking of friends.		第6回	Unit Nine cont.: Completing a homestay application		
第7回	Unit Three cont.: Understanding and giving advice		第7回	Unit Ten: Choosing a university abroad		
第8回	Unit Four: Talking about music		第8回	Unit Ten cont.: Enrolling in a university		
第9回	Unit Four cont.: Giving opinions		第9回	Unit Eleven: Discussing sports		
第10回	Unit Five: Where's the party?		第10回	Unit Eleven cont.: Interpreting sports scores		
第11回	Unit Five cont.: Extending invitations		第11回	Unit Twelve: Expressing your beliefs		
第12回	Unit Six: Making travel plans		第12回	Unit Twelve cont.: Describing beliefs		
第13回	Unit Six cont.: Giving and receiving directions		第13回	Exam review and oral exam explanation		
第14回	Oral interview exam (40% of total score)		第14回	Oral interview exam (40% of total score)		
第15回	Final written exam (40% of total score)		第15回	Final written exam (40% of total score)		
履修上の注意	Students must attend at least 75% of classes and have a combined total score of 60% or more to receive credit for this subject.					
試験成績の評価基準	For each semester: Written exam (40%), Oral Interview (40%), Class Mark (20%)					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	実用英語		授業形態	演習		
担当教員	佐久間 洋子		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	①英検2級出る単・パス単 ②7日間完成2級予想問題ドリル					
講義の概要	実用英語検定2級合格に必要な各分野の力を獲得する					
講義の展開計画						
前期			後期			
第1回	①イントロダクション ②Hometown紹介		第1回	英検模試 (R)		
第2回	単語テスト①Day 1 語彙&R		第2回	英検模試 (L+解説)		
第3回	単語テスト②Day 1 L&Writing		第3回	単語テスト①Day 4 語彙&R		
第4回	単語テスト③Day 1 語彙&R&L		第4回	単語テスト②Day 4 R		
第5回	単語テスト④Day 2 語彙&R		第5回	単語テスト③Day 5 リスニング		
第6回	英検模試Day 2 (R)		第6回	単語テスト④Writing & speaking		
第7回	英検模試 (L+解説)		第7回	単語テスト⑤Day 6 語彙&R		
第8回	単語テスト⑤		第8回	単語テスト⑥ Day 6 リスニング&writing		
第9回	単語テスト⑥Day 2 Writing		第9回	単語テスト⑦Speaking		
第10回	単語テスト⑦Day 3 リスニング		第10回	単語テスト⑧Speaking		
第11回	単語テスト⑧Day 4 語彙		第11回	単語テスト⑨Speaking		
第12回	単語テスト⑨Day 4 R		第12回	単語テスト⑩Speaking		
第13回	単語テスト⑩Day 4 R		第13回	学年のまとめ		
第14回	前期末試験準備		第14回	後期末試験準備		
第15回	前期末試験		第15回	後期末試験		
履修上の注意	語彙パートはHW					
試験成績の評価基準	定期試験8割(単語テスト含む) 平常点2割(speaking含む)					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	実用英語		授業形態	演習		
担当教員	大久保 泉		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	英検準2級予想問題ドリル・英検準2級出る単パス単					
講義の概要	英検準2級合格を目指し、習得済英単語、基本文法を使用し、自信をもって英語を読み、運用するための基盤を作り上げます。ライティングを基礎から学び基本スキルを身に付けます。					
講義の展開計画						
第1回	レベルチェック ミニ英検模試		第1回	英検模試 Reading		
第2回	文章の基本構成		第2回	英検模試 Listening		
第3回	基本英文法		第3回	英検解答解説		
第4回	ライティング基礎		第4回	面接試験対策		
第5回	音声トレーニング実践		第5回	面接試験対策		
第6回	英検模試 Reading		第6回	タイムドリーディング①		
第7回	英検模試 Listening		第7回	タイムドリーディング②		
第8回	英検解答解説		第8回	クリティカルリーディング基礎		
第9回	面接試験対策		第9回	ディスカッション①		
第10回	面接試験対策		第10回	ディスカッション②		
第11回	ライティング対策①		第11回	ディスカッション③		
第12回	ライティング対策②		第12回	ミニ英検模試		
第13回	プレゼンテーション		第13回	ミニ英検模試解説		
第14回	プレゼンテーション 期末テスト		第14回	面接試験		
第15回	期末テスト		第15回	期末試験		
履修上の注意	毎回単語テストの準備をして授業に参加してください。					
試験成績の評価基準	筆記試験 (60%)、面接試験 (20%)、平常点 (20%) 単語テスト、小テストスコア					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	英文法		授業形態	演習		
担当教員	近江 貞子		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	Basic Grammar in Use, Laugh and Learn, オリジナルプリント					
講義の概要	日本語と英語は構造的に異なり、それを総括する法則も異なる。今まで学習してきた文法項目を横軸にして、それらを英語全体の縦軸の中に位置づけて再学習する。英語を正しく読み取るための方法を演習を通して理解する。毎回英文法クイズを出すので楽しみながら考えてほしい。					
講義の展開計画						
前期			後期			
第1回	Introduction、英文法クイズ、品詞の確認		第1回	英文法クイズ Grammar in Use Unit 19, 20 & 21		
第2回	英文法クイズ、品詞とその役割、辞書の引き方		第2回	英文法クイズ、 Laugh and Learn Unit 10 Grammar in Use review		
第3回	英文法クイズ、品詞と文の要素、句と節； Laugh and Learn Unit 5		第3回	英文法クイズ Grammar in Use Unit 22 & 23		
第4回	英文法クイズ Grammar in Use Unit 1, 2, 3 & 4		第4回	英文法クイズ、 Laugh and Learn Unit 11 Grammar in Use review		
第5回	英文法クイズ、 Laugh and Learn Unit 1 & 2 Grammar in Use review		第5回	英文法クイズ Grammar in Use Unit 52 & 53		
第6回	英文法クイズ Grammar in Use 5, 6, 7 & 8		第6回	英文法クイズ、 Laugh and Learn Unit 12 Grammar in Use review		
第7回	英文法クイズ、 Laugh and Learn Unit 3 & 4 Grammar in Use review		第7回	英文法クイズ Grammar in Use Unit 54 & 55		
第8回	英文法クイズ Grammar in Use Unit 9, 10, 11 & 12		第8回	英文法クイズ、 Laugh and Learn Unit 13 Grammar in Use review		
第9回	英文法クイズ、 Laugh and Learn Unit 6 Grammar in Use review		第9回	英文法クイズ Grammar in Use Unit 30, 31, 32 & 33		
第10回	英文法クイズ Grammar in Use Unit 12, 13, 14 & 15		第10回	英文法クイズ、 Laugh and Learn Unit 14 Grammar in Use review		
第11回	英文法クイズ、 Laugh and Learn Unit 7 Grammar in Use review		第11回	英文法クイズ Grammar in Use Unit 38, 39 & 40		
第12回	英文法クイズ Grammar in Use Unit 16, 17 & 18		第12回	英文法クイズ、 Laugh and Learn Unit 14 Grammar in Use review		
第13回	英文法クイズ、 Laugh and Learn Unit 8 & 9 Grammar in Use review		第13回	英文法クイズ Grammar in Use Unit 30, 31, 32 & 33		
第14回	Review all Preparation for the test		第14回	Review all Preparation for the test		
第15回	Term-end Examination		第15回	Term-end Examination		
履修上の注意	上記は進捗状況に合わせて変更もあり得る。受講者は前もってテキストを読み、課題の演習問題をしてから授業に臨むこと。“なんとなく”分かるのではなく、きちんとアウトプット出来るまで理解すること。疑問点は積極的に質問すること。辞書は必携です。					
試験成績の評価基準	筆記試験80%、平常点（出席・授業への貢献・課題提出等）20%					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	国際比較		授業形態	演習		
担当教員	塚本 里沙		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	自分ごとからはじめよう SDGs探求ワークブック					
講義の概要	SDGsへの知識と理解を深めながら、世界各国と日本の比較を通して様々な視点を持つことができ、自発的に問題解決力を高めると共に、ディスカッションやプレゼンテーションを重ねて英語で自らの意見を伝えられる力を身につける					
講義の展開計画						
前期			後期			
第1回	オリエンテーション、英語で自己紹介		第1回	前期のまとめ、後期オリエンテーション		
第2回	SDGsとは？、SDGsクイズ、Show&Tellについて		第2回	Show&Tell④、アラブ首長国連邦についてリサーチ		
第3回	Show&Tell①、中国についてリサーチ		第3回	Show&Tell④、アラブ首長国連邦についてディスカッション		
第4回	Show&Tell①、中国についてディスカッション		第4回	Show&Tell④、アラブ首長国連邦について発表		
第5回	Show&Tell①、中国について発表		第5回	Show&Tell⑤、ドイツについてリサーチ		
第6回	Show&Tell①、インドネシアについてリサーチ		第6回	Show&Tell⑤、ドイツについてディスカッション		
第7回	Show&Tell②、インドネシアについてディスカッション		第7回	Show&Tell⑤、ドイツについて発表		
第8回	Show&Tell②、インドネシアについて発表		第8回	Show&Tell⑥、アラスカについてリサーチ		
第9回	Show&Tell②、オーストラリアについてリサーチ		第9回	Show&Tell⑥、アラスカについてディスカッション		
第10回	Show&Tell②、オーストラリアについてディスカッション		第10回	Show&Tell⑥、アラスカについて発表		
第11回	Show&Tell③、オーストラリアについて発表		第11回	グループプレゼンテーション①		
第12回	Show&Tell③、南アフリカについてリサーチ		第12回	グループプレゼンテーション②		
第13回	Show&Tell③、南アフリカについてディスカッション		第13回	グループプレゼンテーション③		
第14回	Show&Tell③、南アフリカについて発表		第14回	グループプレゼンテーション④		
第15回	定期試験		第15回	定期試験		
履修上の注意	授業内容は進行状況により変更になる場合もあります。					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、実技試験と平常点の合計を評価基準とする。(定期試験40%、プレゼン40%、平常点20%)					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	地域研究 I			授業形態	演習		
担当教員	李 香			履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1			
実務経験							
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・参考文献 1、李 志瑛 できる韓国語初級1 CD1枚付き アスク出版社 2、林松濤「リン ショウトウ」(2016)【日本人が知りたい中国人の当たり前中国語リーディング】三 修社 3、王丹「Wang Dan」(2015)【新ゼロからスタート中国語】文法編 (CD1枚付き) Jリサーチ出版 						
講義の概要							
講義の展開計画							
前期				後期			
第1回	シラバス、授業説明、座席指定、韓国語の名前発表。韓国語で自己紹介練習			第1回	座席指定、中国語で練習		
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・「自文化」と「他文化」の理解と比較 ・韓国人の日常生活① ・ハングルの子音、母音、単語 			第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の食文化 ・中国語の基本知識 		
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国人の日常生活② ・ハングルの激音、単語 			第3回	<ul style="list-style-type: none"> 中国人の日常生活② ・発音のポイント(ピンイン、母音、声調) P5-8 		
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の地理歴史 ・ハングルの濃音、単語 			第4回	単母音、子音		
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の現代社会① ・ハングルの合成母音、単語 			第5回	複合母音(13種類)、鼻母音(16種類) P13-14		
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会② ・ハングルのパッチム、単語 			第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の現代社会 ・私は～です。否定形、疑問形 		
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の教育文化① ・私は～です。否定形、疑問形肯定形 P40-58 			第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・これはなんですか 指示代詞、物の名詞、疑問代詞 p66 		
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・教育文化② ・何をしますか 動詞のです形、ます形導入 P64 			第8回	中国の教育文化		
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の文化芸術① ・動詞のです、ます形 練習問題 P76 			第9回	尋ねる4-5P75-83		
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術② ・漢数字、名詞のヨ体 P90 			第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞『有』 反復疑問文P68 		
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の宗教文化 ・動詞のヨ体 練習問題 資料配布 			第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞の使い方P108-123 		
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の服装文化について ・名詞の敬語、動詞の敬語P106 			第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性の日」、記念日 		
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の割り勘、プライベート文化 ・動詞の過去形、過去敬語資料配布 			第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の服装文化について 		
第14回	期末試験対策、質疑応答			第14回	期末試験対策、質疑応答		
第15回	期末試験			第15回	期末試験		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回ではないですが、ペアワークやグループワークを取り入れ、発表などを通して、地域研究についての認識や意識を高め、深めることができます。日本と他国の比較事例を覚えていきます。 ・言語の方は、前回の部分は必ず復習するよう、お願い致します。 						
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、期末試験と平常点(中間テスト、課題、授業での態度など)の合計を評価基準とする(評価:試験80%、平常点20%)						

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	日本文化		授業形態	演習		
担当教員	高橋 由美子		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	通訳案内士(英語)、中学校教師(英語)、日本語教師					
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で日本のしきたりと文化を伝える本 ・関連プリント 					
講義の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化についての知識を深め、理解する。 ・「やさしい日本語」と「わかりやすい英語」で日本文化を説明できるように練習する。 					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション		第1回	4. 日本文化にふれる 歌舞伎、能、神楽		
第2回	言葉と文化 / 日本語 / やさしい日本語		第2回	4. 日本文化にふれる 雅楽、文楽		
第3回	1. 食事のマナー 箸、日本食の基本、寿司		第3回	4. 日本文化にふれる 着物、浴衣		
第4回	1. 食事のマナー 回転寿司、そば・うどん、天ぷら		第4回	4. 日本文化にふれる 茶道、華道		
第5回	1. 食事のマナー 鍋料理、会席料理・懐石料理、居酒屋		第5回	4. 日本文化にふれる 書道、俳句、浮世絵		
第6回	1. 食事のマナー 日本酒・焼酎、ラーメン、家庭料理		第6回	4. 日本文化にふれる 盆栽、漆器、陶磁器		
第7回	1. 食事のマナー 駅弁・弁当・おにぎり 和菓子、日本茶		第7回	4. 日本文化にふれる 相撲、武道、侍、忍者		
第8回	2. 宿泊・訪問のマナー 日本旅館、温泉、銭湯		第8回	4. 日本文化にふれる 折り紙		
第9回	2. 宿泊・訪問のマナー 宿坊、日本の家、訪問、手土産		第9回	5. お土産を買う 日本のお土産①、②、③		
第10回	3. 参拝・観光のマナー 神社、神社の参拝、おみくじ・お守り		第10回	6. 日本のしきたり 年中行事一春、夏		
第11回	3. 参拝・観光のマナー お寺、お寺の参拝、仏像		第11回	6. 日本のしきたり 年中行事一秋、冬		
第12回	3. 参拝・観光のマナー 座禅、写経、日本庭園		第12回	6. 日本のしきたり お正月		
第13回	3. 参拝・観光のマナー 城、祭り、花見		第13回	6. 日本のしきたり 神前結婚式、お葬式		
第14回	実践練習		第14回	実践練習		
第15回	期末試験と解説		第15回	期末試験と解説		
履修上の注意	課題をきちんとして授業に出席すること。					
試験成績の評価基準	定期試験 80% 平常点(出席、課題、授業態度) 20%					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	ビジネスコミュニケーション		授業形態	演習		
担当教員	豊田 裕子		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	専門科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	国内大手航空会社客室乗務員。チーフパーサーとして、国内際10年間乗務、マナーやホスピタリティの講座を実施。またキャリアコンサルタントとして、主に若年層への就職支援の授業やセミナー、厚生労働省主催高校生就職活動支援セミナーなどを実施。					
テキスト	コミュニケーション検定 初級公式ガイドブック & 問題集					
講義の概要	コミュニケーション検定初級を合格を目指す。検定の学習を通して、自己紹介や状況に応じた質問に対して、相手に伝わるように、簡潔に話せるようになる。また、入社後に備えて社会人としてのマナーを身につけ、社会人として相手の気持ちを考えたコミュニケーションを何かを学び、円滑な人間関係の構築ができるようになることを目指す。※進捗状況によっては変更の可能性があります。					
講義の展開計画						
前期			後期			
第1回	オリエンテーション		第1回	1分間スピーチ (夏休みの過ごし方)		
第2回	コミュニケーションとは何か		第2回	来客対応 (上座下座)		
第3回	コミュニケーションの目的と言葉の働き		第3回	電話対応		
第4回	挨拶の効用、話し言葉と書き言葉		第4回	アポイントメントの取り方		
第5回	「きく」ことの重要性		第5回	名刺交換		
第6回	「聞く」ことのメリット、コミュニケーションの目的		第6回	報連相の重症性		
第7回	効果的な話し方を身につける		第7回	チームコミュニケーション		
第8回	敬語①		第8回	GW (価値観の違いについて話し合う)		
第9回	敬語②		第9回	第一印象について		
第10回	敬語③		第10回	面接 (就職活動、会社説明会のマナー)		
第11回	敬語④		第11回	接客営業 (聞く、クッション言葉)		
第12回	グループワークの実施方法①		第12回	クレーム対応 (後良し言葉、クレーム対応で大切なこと)		
第13回	グループワークの実施方法②		第13回	過去問題、自己紹介を考える		
第14回	前期のまとめ		第14回	過去問題、自己紹介を考える		
第15回	前期末試験		第15回	後期筆記試験		
履修上の注意	●提出物は必ず出すこと ●欠席する際は、必ず事前に連絡すること ●必ず返事をする。					
試験成績の評価基準	筆記試験 (70点) 平常点 (30点)					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	コミュニケーションスキル		授業形態	演習		
担当教員	中村 幸子		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	オリジナルテキスト					
講義の概要	社会で様々な人々とコミュニケーションが図れるように、ペアワークやグループワークを通して土台となる基本コミュニケーションを身に付ける。					
講義の展開計画						
前期			後期			
第1回	講座の概要、自己開示の練習と自己紹介		第1回	講座の概要、自己紹介		
第2回	自己開示の練習、伝える≠伝わる		第2回	コミュニケーションの重要性と必要な要素		
第3回	他己紹介、自分を知る、自己肯定感とは		第3回	自己理解と他者理解		
第4回	ノンバーバルコミュニケーション①		第4回	4つのコミュニケーションスタイルを知る		
第5回	ノンバーバルコミュニケーション②		第5回	信頼関係の構築		
第6回	人間関係の基本		第6回	アプローチ		
第7回	傾聴		第7回	事例研究①		
第8回	承認		第8回	事例研究②		
第9回	質問		第9回	異文化コミュニケーション①		
第10回	傾聴、承認、質問「総合実習」①		第10回	異文化コミュニケーション②		
第11回	傾聴、承認、質問「総合実習」②		第11回	総まとめ		
第12回	プレゼン準備①		第12回	プレゼン準備①		
第13回	プレゼン準備②		第13回	プレゼン準備②		
第14回	プレゼン		第14回	プレゼン		
第15回	期末テスト		第15回	期末テスト		
履修上の注意	座席指定					
試験成績の評価基準						

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	ペン習字		授業形態	演習		
担当教員	菊池 恭子		履修年次	1年		
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	1. 正しい筆順が身につく漢字の上手な書き方練習帳 2. 硬筆書写技能検定合格のポイント3級					
講義の概要	1. 硬筆書写技能検定3級受験対策のため、実技練習及び理論問題対策をおこなう 2. 実用的な場面で美しい文字が書けるよう指導する(履歴書、手紙、ハガキなど)					
講義の展開計画						
前期			後期			
第1回	オリエンテーション 自己紹介、授業概要について		第1回	3級検定対策 行書を書く、第1問		
第2回	筆記用具の持ち方、書く姿勢		第2回	3級検定対策 行書を書く、第2問		
第3回	文字の基本的なルール		第3回	3級検定対策 行書を書く、第2問		
第4回	ひらがなを書く		第4回	3級検定対策 第3問		
第5回	自分の氏名の練習 カタカナ・数字を書く		第5回	3級検定対策 第3問		
第6回	4級検定の問題を解く① プリント使用		第6回	3級検定対策 第5問		
第7回	4級検定の問題を解く② プリント使用		第7回	3級検定対策 第6問		
第8回	4級検定の問題を解く③ プリント使用		第8回	3級検定対策 第6問		
第9回	4級検定の問題を解く④ プリント使用		第9回	3級検定対策 1~6問練習		
第10回	3級検定対策 第5問		第10回	模擬試験		
第11回	3級検定対策 第5問		第11回	履歴書の書き方について		
第12回	実用ペン字 封筒の書き方、電話メモの書き方		第12回	模擬試験		
第13回	苦手問題練習		第13回	苦手問題練習		
第14回	前期期末試験①		第14回	後期期末試験①		
第15回	前期期末試験②		第15回	後期期末試験②		
履修上の注意	・ 上記は実技対策スケジュールを示す。この他毎授業30分の理論対策を実施する (テキスト使用)					
試験成績の評価基準	平常点20点 (授業内課題提出、小テスト、授業態度、忘れ物) 筆記試験80点					

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	観光ビジネス I		授業形態	講義			
担当教員	木島 上		履修年次	1年			
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1			
実務経験	国内外でホテル各部門の業務を経験。2001年から、ホスピタリティ開発の専門コンサルタントとしてホテル旅館・医療福祉・公共サービスなど各分野の人材育成を支援している。						
テキスト	オリジナルプリント						
講義の概要	宿泊業、旅行業、公共交通事業など幅広い領域にわたる観光ビジネスを俯瞰しつつ、ホテル・旅館業を中心に、仕事の特性や今後の展望、経営課題までを総論的に講義します。						
講義の展開計画							
第1回	観光立国化ビジョンと観光ビジネス		第1回	チェーン展開の仕組みとメリット/ブランドの階層展開			
第2回	アフター・コロナを見据えたウィズ・コロナ		第2回	インターネット時代の宿泊業/宿泊予約サイトの動向			
第3回	ハピネスを提供する仕事/対人コミュニケーションを豊かにする三段跳び発想		第3回	Unique Selling Proposition (“ならでは”の顧客価値創造) / 小規模事業の強みとは			
第4回	観光ビジネスの全体像 (アゴ・アシ・マクラ、デアイ・アンビ・マナビ、観光物産、その他)		第4回	理性へのアピール、感性へのアピール			
第5回	旅行業、公共交通事業の現状と展望/観光ビジネスの経営特性		第5回	顧客価値を創造し、売り上げを向上させる5原則			
第6回	宿泊業の現状と展望/ホテルと旅館 (それぞれの魅力と経営特性)		第6回	地域に人を呼び込む「着地型ホスピタリティ発想」/ 日本版DMO			
第7回	ホテルの分類 (立地、グレード、資本系列、経営形態)		第7回	単なる恭しさを超える、アグレッシブ・ホスピタリティ			
第8回	外資系ホテル進出の背景と影響/和への回帰		第8回	クレームやトラブルへの備え/クレームやトラブルが発生しにくい土壌づくり			
第9回	ホテル企業の組織体制と業務内容/ホテル各現業部門の収支特性		第9回	観光ビジネスにおける働き方改革と、その実践事例			
第10回	ホテルの宿泊部門 (業務特性、稼働率、イールド・マネジメント)		第10回	メンタルヘルスの維持向上/ハラスメント対策			
第11回	ホテルの料飲部門 (業務特性、各種業態とその特徴)		第11回	サービス・マネジメント/サービス・リーダーシップ			
第12回	ホテルの宴会会部門 (業務特性、一般宴会案件とブライダル案件)		第12回	安全性と快適性を生み出す建築上の工夫			
第13回	ホスピタリティ・マーケティング発想/理念と行動指針		第13回	宿泊産業の近未来展望 (観光需要、ICT、超高齢化、SDGs)			
第14回	Employee Satisfaction (職場満足感) は全員の手で		第14回	さらなる発展のための基本的課題/授業内容の総括			
第15回	前期末試験		第15回	後期末試験			
履修上の注意	受動的にならず、観光ビジネスについて、自分として関心の湧く部分や好きな切り口を見出すつもりで受講していただきたい。						
試験成績の評価基準	授業内容を理解し、設問に基づいて正確かつ論理的に説明できるか、筆記試験にて採点 (50点満点)。与えられたテーマに沿って自分の考えをまとめ、表現できるか、課題レポートにて採点 (30点満点)。出席率を点数化 (10点満点)。問いかけへの反応や質問の多寡など集中度と積極性を点数化 (10点満点)。						

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	ファイナンスリテラシー		授業形態	演習			
担当教員	佐藤 和磨		履修年次	1年			
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻	共通科目			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1			
実務経験	①法人確定申告 ②個人確定申告 ③消費税確定申告 ④会社経営経験 ⑤個人事業経験 ⑥FP相談業務						
テキスト	①10代から学ぶパーソナルファイナンス ②スッキリわかる日商簿記3級						
講義の概要	資本主義経済を生き抜くためのマネーリテラシーを高め、幸せになるための人生設計をする。自分の頭で考え、判断し、時間とお金を自己の思いのままにコントロールできる成人となることを目指す。						
講義の展開計画							
前期				後期			
第1回	オリエンテーション		第1回	前期の復習			
第2回	ファイナンスリテラシーとは		第2回	お金を貯める			
第3回	ライフプランとパーソナルファイナンス		第3回	お金を増やす			
第4回	18歳で成年になるということ		第4回	お金を借りる			
第5回	お金を管理するスキル		第5回	契約・トラブル			
第6回	世界とつながる私のお金		第6回	資格、職業			
第7回	お金を稼ぐ		第7回	ライフプランとパーソナルファイナンス			
第8回	前半まとめ		第8回	簿記とは			
第9回	税金		第9回	仕事をしてみよう			
第10回	社会保険・民間保険		第10回	現金・預金			
第11回	年金		第11回	商品売買			
第12回	家計簿のつけ方		第12回	税金・保険の復習			
第13回	人生設計のやり方		第13回	幸せになるために			
第14回	前期のまとめ		第14回	後期のまとめ			
第15回	前期末試験		第15回	後期末試験			
履修上の注意	特になし						
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、実技試験と平常点の合計を評価基準とする。 (評価：定期試験80%、平常点20%)						

講義概要 (Syllabus)

2023年度

科目名	基礎ゼミナール		授業形態	演習			
担当教員	担任		履修年次	1年			
担当学科	国際コミュニケーション科		G、クラスまたは専攻				
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1			
実務経験							
テキスト	・キャリアプランからはじめる就職活動 実践!ワークブック						
講義の概要	<p>・進路(就職・進学・留学)決定に向けて、自身についての理解を深める。</p> <p>・社会の動きや就職活動の現状を把握する力を身に付け、スムーズに就職活動を始められるよう、基本となる知識と実践力を養う。</p> <p>【前期テーマ】自分を知る 【後期テーマ】就職活動準備</p>						
講義の展開計画							
第1回	オリエンテーション キャリアプランとは?		第1回	講演会			
第2回	『働く』とは? 人生のマネープランを立てよう		第2回	自己PRを書いてみる①			
第3回	専門学校での2年間をどう過ごすか?就職活動の流れ		第3回	自己PRを書いてみる②			
第4回	自分を知る①(今までを振り返る)		第4回	学生時代に頑張ったことを書いてみる①			
第5回	自分を知る②(今までを振り返る)		第5回	学生時代に頑張ったことを書いてみる②			
第6回	自分を知る③(長所)文章化		第6回	履歴書の書き方①			
第7回	自分を知る④(長所)グループワーク		第7回	履歴書の書き方②			
第8回	自分を知る⑤(長所)まとめ		第8回	メイクレッスン(資生堂) ※スーツ着用			
第9回	自分を知る⑥(短所)文章化		第9回	写真撮影() ※スーツ着用			
第10回	自分を知る⑦(短所)グループワーク		第10回	就職ガイダンス			
第11回	自分を知る⑧(短所)まとめ		第11回	メールのマナー			
第12回	自分の強み①(探す)		第12回	電話のマナー(ロープレ)			
第13回	自分の強み②(仕事としてイメージしてみる)		第13回	面接・就職の流れ			
第14回	履歴書を書く(左部分)		第14回	企業訪問の時の注意事項			
第15回	前期期末試験		第15回	後期期末試験			
履修上の注意	・授業内で、言葉遣いや敬語が身に付くよう意識づけを促す。						
試験成績の評価基準	【通年】平常点20点【前期】履歴書40点+作文(長所)40点 【後期】履歴書完成80点+平常点20点						